

# なきごえ



1984

2

大阪市  
天王寺動物園協会

# 動物と私

## 地上に降りたナマケモノ

香川 一 水



今年も寒い季節になりました。少し暖房の話をして致しましょう。

動物園の動物たちは、東南アジア、アフリカ、南アメリカなどから来たものが多く、冬には、暖かくしてやらなければなりません。

栗林動物園でも、ライオン、トラ、ヒョウとか耐寒性が出来た鳥類を除いて、多くの動物たちに暖房をしてやりますが、そのシステムは、大部分2本立てになっています。ワニの部屋は、30度Cの温水プールと床暖房、ヘビ舎は、25度Cの温風装置と床暖房、ゴリラ、オランウータン、チンパンジーなどは、赤外線灯と床暖房、ナマケモノや猿類は、灯油ストーブと床暖房という具合です。どうしてかといいますと、暖房を一つだけに限りますと、もし深夜に停電あるいは機械の故障などで、止まった場合、朝までそのままにしますと、動物が寒さのために死亡するということになるからです。

そこで、開園（昭和5年1月1日）以来、採用されているのが、栗林式レンタンだきの床暖房です。これは、暖房の必要な部屋の床下に、耐火レンガで炉を作り、その中へ火のついた18cm径のレンタンを入れて、床を暖める方法で、いわゆるオンドルといわれる装置です。毎日午後入れられた、1コのレンタンで、上の4層の耐火レンガとその上のコンクリート床を暖め、一昼夜の間、一番火力の強い時で、約40度C、最低で25度Cに保たれます。動物は、自分が必要な時に、この暖かい床の上に寝ころんで暖

をとるといふ寸法です。ですから、この装置は、排ガス対策さえ十分にしておけば、火を入れてから1～2時間後に、一度チェックすれば、その後は、消える心配がないという当園自慢の施設ですが、他の動物園では、なぜかレンタンは採用されないようです。

さて、栗林名物のナマケモノ、パナマ産のものを3頭と、ボリビア産のものを2頭（いずれもホフマン種）飼っています。名前を聞いておわかりのように、この動物、1日の約3分の2は、樹の枝に手足4本でしっかりとぶらさがり、丸くなって、ほとんど動かないというところから名付けられたものですが、人間のなまけ者とは中身が違います。彼らが動かないのは、なまけているのではなく、動くことによるエネルギーの消費を、極力節約しようという、完全な省エネ型生活を、生活の知恵として行っている訳なのです。

空腹になった時、食物を求めてわずかに移動しますが、その他は、ほとんど樹にぶらさがって動かない生活。ですから、彼らの暖房は、空調による温度コントロールがよいのは当然ですが、彼らにも私たちは、保安熱源として、レンタンの床暖房を使うことにしました。

ところが、5頭の中の1頭は、いつのころからか、樹から降りて、暖かい床の上へ、横になって寝るではありませんか。それからの彼の生活は、毎夜地上に降りて寝るようになりました。暖い床で、横になって休むことが、より快適であると悟ったのでしょう。彼らの、外敵からの防御という、本来の習性を捨てて、新しい生活を見出した彼こそ、ナマケモノの中のなまけものではないでしょうか。

他の4頭は、相変わらず樹にぶらさがって寝ています。彼らには、この新しい文化ともいえる仲間の新発見を、学習する能力もなく、また、先駆者のなまけもの君も、仲間に伝える能力を持ち合わせていないと思えるのです。 (財)栗林公園動物園長

### なきごえ2月号もくじ

動物と私 .....	2
“ハリモグラ” .....	3
動物園グラフ・動物園日記 .....	4・5
天王寺の動物たち ㉑ .....	6・7
キングペンギンのふ化・成長記録 .....	8・9
獣医室から ㉓ .....	10
動物園ニュース .....	11

### 表紙の写真説明

#### “アフリカタテガミヤマアラシ”

アフリカから南、東南アジアにわたって分布するこのヤマアラシは、その名のとおりに首すじに細長い針が「たてがみ」のようにはえています。

(撮影：大川 光 雄)



### “やっと顔見世、ハリモグラ”

昨年10月5日にオーストラリアのビクトリア製造業会議所から贈られたハリモグラ（2頭）がやっと環境にも慣れたのか、昼間でも動きまわるようになってきました。それまでは土中にもぐって針の先端しか見せてくれなかつただけに、遅ればせの顔見世ながらほっとしたところでした。

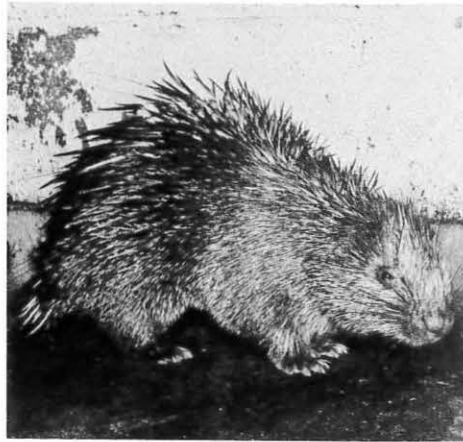
(撮影：野口 秀 高)

# 動物園グラフ

## “天王寺動物園のげっ歯類”

今年のエトはネズミ。今回は天王寺動物園にいるネズミの仲間をグラフで特集してみました。

(撮影：宮下実)



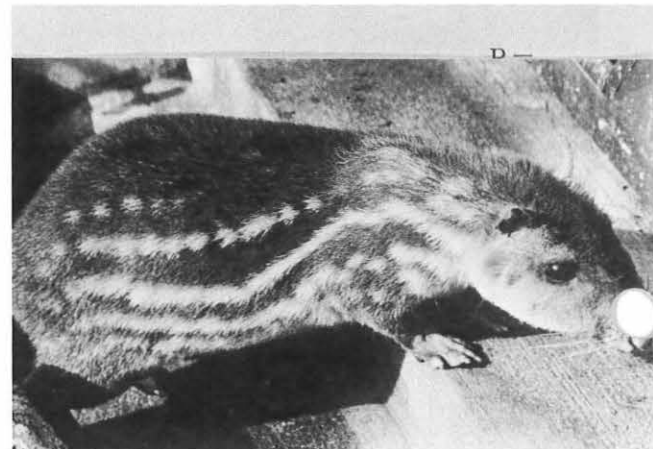
①パラヤンヤマアラシ  
日本で唯一頭の珍しいヤマアラシです。



②アフリカタテガミヤマアラシ  
首すじのタテガミが特長です。



③アグーチ  
後肢の長いのが特長です。



④バカ  
茶褐色の毛色に4列の白斑が目をはきます。

### 12・1月の動物園日記

- 12/16. クロオオカミが交尾しました。
- 12/17. キーウィ舎の暖房温度を22℃に設定しました。
- 12/18. ブラックバックの子が1頭生まれました。
- 12/19. エミューが交尾しました。今年6月生まれのニホンザルの子に、個体識別のため入れずみをしました。
- 12/20. フランソワルトンの検便を行ないました。動物病院の大掃除を行ないました。
- 12/21. 「干支の動物しめ縄飾り」と「干支のおもちゃ展」のプレス発表を行ないました。
- 12/23. ハシビロガモを1羽保護しました。

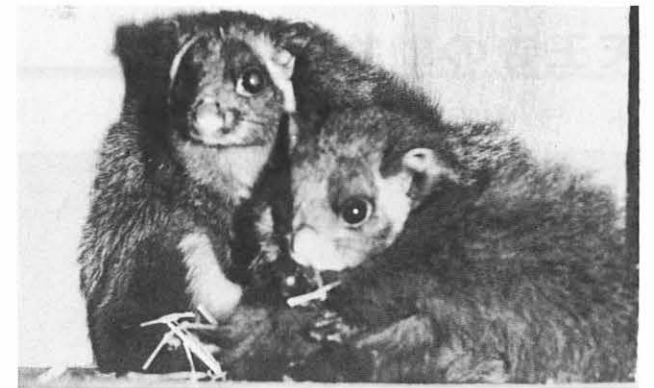
- 12/24. 人工哺育中のトラの子に、ネコジステンパーワクチンを接種しました。
- 12/25. ガイドブック作製の準備会が開かれました。シンリンオオカミとドール各々が交尾様行動をとりました。
- 12/26. 咬傷で入院治療を受けていたアジルテナガザルを退院させました。ハイイロカンガルーの雌“アン”の袋内に体長約8cmの赤ちゃんを確認しました。
- 12/28. キーウィの体重測定を行ないました。ハリモグラの採食量が増加しています。ホッキョクグマの回虫駆虫を実施しました。本日より4日間の休園に入りました。
- 12/29. ホッキョクグマに馬肉を与えてみました。
- 12/30.



⑤シマリス  
当園で最小のげっ歯類です。  
(隣室には台湾リスがいます。)



⑦ブレリードッグ  
直立姿勢は愛嬌たっぷりです。



⑥ムササビ  
2頭共、人工哺育で育てられました。(撮影：森本委利)



⑧ヌートリア  
泳ぎが大変じょうずです。



⑨テングネズミ  
別名モルモット、ペットとしてもよく飼われています。

- 雄のみが好んで食べました。カリフォルニアアシカの子の体重測定を行ないました。
- 12/31. 園長の年末挨拶ならびに本日付けで定年退職の飼育課主任の挨拶がありました。
- 1/1. 足環による緊縛のため右足不良となったタイハクオオムを入院させ治療しました。
- 1/2. 子年初めての開園です。朝、園長の新年挨拶がありました。MBSラジオの「電話相談室」に、当園の獣医が回答者として出演しました。
- 1/4. 人工哺育中のトラの子の雄の子のヘルニア手術を行ないました。

- 1/5. ノスリを1羽保護しました。昭和58年全診療カルテのまとめを行ないました。
- 1/6. 大阪府立大学獣医学科教授・堀内貞治先生が来園、見学されました。
- 1/7. モウコガゼルの子に発情兆候がみられたため雄と同居させましたが、交尾にはいたりませんでした。
- 1/8. アカカンガルーのチャリとナナが交尾しました。
- 1/13. ヘルニア手術をしたトラの抜糸を行ないました。

トラ ①



アジアの獣王、トラ

§ トラとライオン

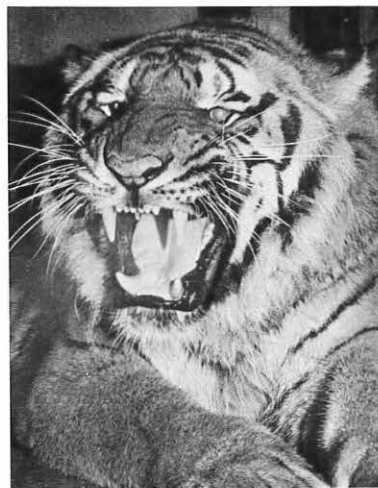
トラとライオンはどちらが強い？ これはゾウの鼻は何故長い、といった質問と並んで最もよく聞かれる質問のひとつです。

体格は甲乙つけ難く、力の強さ、敏捷さもいい勝負でしょう。ローマ時代各種の動物を戦わせ、片方が負けて血を流すのを見て喜ぶという全く幼稚で残忍なショーが行われていました。この頃、ライオン対トラの試合もありましたが、比較的トラの方が勝っていたようです。

自然界では皆さんご存知のようにトラはアジアに、ライオンは主にアフリカに生息しています。ですがごく少数のライオンはインドのある地方にも住んでいます。このライオンはインドライオンと呼ばれ、大変数が少なくなったため現在では厳重に保護されています。しかし、トラはこの地方には生息していませんから、現在野生でトラとライオンが会いまいるといったことはもうありません。

インドに住むライオンの数がもっと多かった19世紀初頭には両者が同じインド大陸に分布していましたが、ライオンは草原に、トラは森林や茂みに住むという生態的な違いから、両者が野生の状態で行き交うことは無かったものと考えられます。また、もし出会うことがあったとしても戦いは避けられたと思われま

す。動物は自分が生きるためのエサとして他の動物を殺して食べることはあっても興味や楽しみで他の動物を襲い殺したりはしないからです。



オストラ。首の周りの立派なタテガミ様のご注目

その体格はライオンに勝るとも劣りません。ライオンはアフリカの王。トラはアジアの王といった気がします。

§ 広い分布

トラはシベリアで生まれたとされる説が有力です。

ライオンは百獣の王とよく言われます。見事なたてがみ、立派な体格からして正に獣王の風格があります。しかしトラも負けてはいません。よく見るとオスのトラの首の周りの毛は長くなりたてがみと思わせませすし、

そしてそこから分布を広げたと考えられます。現在、北緯55度のシベリア南東部、南緯8度のジャワ。東は東経45度のカスピ海周辺、西は東経140度のアムール川流域までの広大な面積に分布しています。



人工哺育中のトラの赤ちゃん

これだけ広い面積に分布していますから各地のトラは互いに体格や体色に差があります。動物界においては一般に、同種のものの中では寒い地方に住むものは暖かい地方に住むものより体色は薄く、体格は大きくなるという法則があります。ですからトラの中でも最も北に住むシベリアトラが最大で、その体重は200kgを越えます。またアメリカのあるサーカスで飼われていたシベリアトラは320kgもあったと言われていましたし、ウスリー山で獲られたものは384kgもあったと言われていました。これは最小のトラとされるバリ島に住むバリドラの3倍もの体重になりますから住む地方によってどれだけ体格に差があるかわかりいただけだと思います。

§ 神聖視されるトラ

また、トラの体色は普通、黄色地に黒の縞模様ですが、中国では黒いトラが非常に少数ですが見られています。そしてインドに住むベンガルトラの中に白いトラがいることは有名です。1970年に大阪で行わ



れた万国博覧会の際、大阪に来ていますからご存知の方もありません。これは仮性の白子と言われるもので、

色素が全く無いわけではなく、体にはシマも見られます。ただそれが大変薄く、白地にグレイのシマといった感じです。また眼がとてもきれいなブルーで、その美しい姿は現地の人々がこのトラを神の使いとてあがめたということがよく分かります。

このホワイトタイガーに限らず、トラは各地で神の使い、あるいは神そのものとしてあがめられていました。シベリアにいた「偉大なるワン」はとても有名ですし、インドには宗教的な感覚でトラを尊敬する人々もいます。また、トラをトラと呼ばずに領主を意味する「オン」とか、主人を意味する「ヴァン」と呼ぶ地方もあります。これなど北海道に住むエゾヒグマを現地の人々が「オヤジ」とか「山オヤジ」と呼ぶことがあるのにちょっと似ています。いずれも動物に対する畏敬の感情から出たものでしょう。

ですからそれらの人々にとってトラの肉はとても珍重され、これを食べれば素晴らしい力と勇気が湧いて来ると信じられていますし、トラのヒザの骨と肋



ワシントン国立動物園のホワイトタイガー

骨で病気が治ると信じられている地方もあります。また、その脂肪はリウマチの特効薬とされる所もありますし、ヒゲが薬になるとされている所もあります。

§ トラの保護

このように崇拝されていたトラでしたが、生活の近代化に伴い、トラへの考え方も次第に変化していききました。そして毛皮をねらった乱獲が始まり、また生息地の破壊による餌動物の減少によってトラの生息数は激減しました。一部のトラでは絶滅したと思われるものもあります。

これに対し、スイスに本部のある世界野生生物基金では関係機関の協力を得て大規模なトラの保護作戦を展開しました。この成果については次回にお話したいと思います。

(長瀬 健二郎：飼育課 獣医師)

# キングペンギンのふ化・成長記録

昭和58年8月30日、晴れ、PM4:00、♂（愛称：キンちゃん）が腹部より卵のカラを嘴で外へ出している。細かく割れたカラが散乱している。……生まれたようだ！すぐに長瀬獣医に連絡するも、「朝少し見えた卵は黒ずんでいて孵化するような卵には見えなかったなあ？」との事、一瞬ガックリ。

PM5:25、再度冷房ペンギン舎に入りキンちゃんのそばに座り、じっとしているとキンちゃんが近づいて来た。声をかけて話しかけると、足もとの方よりヒョヒョというヒナのか弱い声を3回ほど聞くことができた。ふ化したことは確定である。

（以上、キングペンギン育雛日誌より）

「やった！キングのヒナが……」思わず一人でニマリ。ふくみ笑いという何か笑わずにいられない感動以上のものが心をどろかせました。周りにはペンギン達が集まり、ヒンヤリとした消灯後の冷房ペンギン舎の中で一人の男がすわりニヤニヤ。後で思えば他人が見れば異様な光景だったかもしれませんが。しかし、ペンギン担当になって3年目、これまで毎年産卵はあったものの工事等で破卵が続き、やっと3度目の何とやら、心にひっかかっていたものがスーッと体からぬけて、思わず笑いが出たようです。

昭和58年7月7日産卵（七夕の日）

昭和58年8月30日PM4:00頃ふ化

ふ化日数54日、抱卵日数♂31日、♀24日。

昭和58年8月31日（ふ化1日目）はヒナは鳴き声と嘴が少し見えましたが給餌は確認できませんでした。心配で翌9月1日（ちなみに私の誕生日なのですが？）は獣医各位の協力をえて、交替で出来るだけ動静観察し、ヒナの採食給餌を確認することにしました。以下日記からその記録を捨ててみますと、AM9:20、ヒナは♂の下腹部の抱卵のうからよく顔を出して♀の嘴をつつく。

AM9:25、ヒナ、♂の嘴の中に顔をつっこむが採食未遂。

AM9:29、給餌行動あり。それまでピーピーよく鳴いていたがその後は眠ったような感じ。

AM9:54、ヒナに給餌後親は首を上げゴクゴクと何か飲むような動作をする。

その後はヒナは少ししか顔を出さず、親もかくすように給餌し、ヒナは親の抱卵のうにもぐり込んですぐ眠ってしまう。なかなかヒナの姿は見る事が出来ない。それ以後変化なく時間がすぎる。冷房ペンギン舎観客通路でじっと観察を続けるが、この通路、蚊が多くて顔、手足といったところ蚊にさされる。しかし、あのヒナの弱々しい声がガラスを通してピーピーと聞こえるのは驚いた。

AM11:43、やっと♀の腹部から顔を出し、餌をねだるように♀の嘴の下をつつく。

11:45、給餌行動2回、♀（愛称：ミドリさん）1回と3回も見られた。この給餌以後は午後1時頃と5時頃に給餌が見られたので、だいたい2時間おきに給餌されるのではと推察し、以後2時間ごとに注意する観察の方法をとりました。ヒナへの給餌については確認が度々できたので安心しましたが、別に新たな心配が出てきました。それは親鳥の採食状況で、ヒナの食べる量がふえていくのに、親がそれに見合うだけの餌を担当の私の手からは食べてくれないのです。キンちゃんなどはヒナに給餌をマメにするにもかかわらず10日間何も食べなかったのです。9月1日朝にアジ3匹を食べ、その後9月11日まで一匹も食べませんでした。しかしその間にもヒナには15回以上も給餌しています。（確認した回数だけです。）一体何をどういう具合に何日も吐き戻してヒナに給餌していたのでしょうか。



ふ化後16日目

誕生12日目以後から♀の抱雛交替が目立ってきました。ヒナを抱くの交替する時は♀が向い合います。渡す方は自分の足の上のヒナを向い合っている親の足の方へ押しやると渡される方はヒナを嘴でひきよせるように自分の抱卵のうに押し込む、といった具合です。しかし、この頃よりヒナに面白い行動が見られるようになりました。親が交替しようとしなくても、餌をもらっている時でもヒナは自分の意思で自力歩行し、抱いてもらう親を代えるのです。それともう一つは自分の体の羽づくろいを足をつかたり、嘴でかなり丹念に行なうことができるようになったのです。これらの行動でかなり足が丈夫になったことがわかります。このように2週間くらいでかなりヒナはしっかりとし、成長の早いものには目を見はるものがあります。ヒナの成長を以後、日を追って書いてみますと、ふ化後14日目で直立で自力歩行（20~30cm前後）出来るようになった。同時に尻のあたりよりヒナの綿毛が茶色くはえてきた。

ふ化後21日目頃より首の近くまで綿毛が出て尻部の羽毛はフワフワとなってきた。羽づくろいや翼をパタパタと動かしのびをする行動が見られる。

ふ化後23日目頃より全身に綿毛がはえそろいフワフ

ワの毛玉状になりつつある。一回にもらう餌の量が増え始める。

ふ化後30日目頃より鳴き声が少しハスキーになり立



ふ化後33日目

ったまま眠ることがよく見られるようになる。足の大きさが大きく感じられるようになる。

ふ化後35日目頃より給餌時間の間隔、回数が変わりはじめ量が増える。

ふ化後40日目頃より歩行が

十分できるようになり親から2~3m離れたり、こぼしりができるようになった。羽毛も長さ1.5cmくらいにまでなりモコモコのぬいぐるみのような姿になる。

ふ化後50日目頃より翼の力が強く感じられるようになった。キングペンギンの仲間と同等に生活できるようになった。

ふ化後60日目頃、走るスピードが速くなり足も平たく大きくなった。声も大きく餌のねだりもしつこくなる。

ふ化後70日目頃、他の種類のペンギンに

は力で負けないようになり、自由に放飼場やプールサイドに行けるようになった。ふ化後100日目頃、体は親ペンギンなみに成長し一人でつかんだり押えつけるのも困難なほど力をつけてきた。



ふ化後77日目、体重測定

ヒナの成長に伴い、両親以外のキングペンギンにおもしろい行動が見られるようになりました。ヒナがふ化して2日目の頃より両親以外のキングペンギン3羽がヒナの餌をねだるピーピーという声に刺激されるのか、エサを吐き戻そうとする行動をし始め

たのです。時には両親のペンギンより先に吐き戻し行動をしたり、ほんとうに吐き戻してしまったこともあり。誕生後25日目、以前よりヒナに関心を示していた黒い翼帯のキングペンギンが夕方とうとうヒナに近づき給餌を始めました。給餌は2回確認されました。また、その翌日には、ついに両親からヒナを誘拐してしまいました。これにはびっくりし、やむなく私が中に入って両親の元へ戻しました。しかしそれも大きなお世話だったことが後で分かりました。両親は初めオロオロしていましたが、体を休めるチャンスとあって、以後何度も黒のキングペンギンを託児所がわりに利用するようになったのです。

このように他のキングペンギンにも見守られて成長し、誕生より1ヶ月頃には親の腹部には頭しか入らなくなってしまいました。誕生より63日目の11月2日、冷房舎より屋外の放飼場に出すことになり



ふ化後90日目

した。この日は晴れで冷房舎の太陽灯の光しかしないヒナにとって、これほどまぶしいことはなかったでしょう。初めての外の世界、しかも天井がないし周りにいろんな色や型の物がいっぱいあるほか、見たことのないペンギン達も大勢います。とまどいながらも所かまわず歩き、フンボルトやケープペンギンにつつかれたりもしましたが、半日くらいで慣れた様子でした。誕生より77日目で体重7.5kgでした。誕生後154日（2月1日現在）今ではまるで着ぶくれペンギンで、それも毛皮の着ぶくれのようです。体の大きさは親とほとんど変わらず、茶色の羽毛でむしろ親のキングペンギンより目立つほどに成長しました。キングペンギンのオジサン、オバサン、ひょうきん族のジェンツーペンギン、ホワイトカラーのフンボルトとケープペンギン、好奇心の強いイワトビペンギン、こんなペンギン村の住人達に見守られてきつとりっぱなキングペンギンに変身し、トランペットを大きく鳴らす日ももうまもなくでしょう。皆さんもぜひペンギン村を訪ねに来て下さい。

（飼育課：仲谷 登）

# 獣医室から ③③

## 動物病院は大忙し

今年は例年になく寒い冬ですが、その厳しい寒さのためか診療動物も増える一方です。今回はこれらの治療の概要を含めた動物病院の一日の活動をご紹介します。

朝9時、その日に勤務する獣医師の朝のミーティングが始まります。疾病動物の治療概要やその日の手術、検査などの計画を打ち合わせるもので、10分ほどで終了します。その後6人の獣医師はそれぞれの持場に散ります。私の場合はまず北園の巡回に向かいます。北園には哺乳類69種 232頭、鳥類189種 575羽、ハ虫類37種112頭の計295種919頭の動物が収容されていますが、それらの健康状況をチェックしていくわけです。

しかしとても毎日、全個体をチェックしていくわけにはいきませんので、日によって特に重点をおく動物を変えていきます。きょうは草食獣、明日はハ虫類、その翌日は水鳥類といった具合です。この巡回では動物の駐立、歩



クロオオカミの水晶体摘出手術。

行状態、採食量、便、尿の状態、元気の有無、栄養状態などを観察していきますが、限られた時間内ではとても十分とはいえません。やはりそれぞれの動物の飼育担当者からの情報が一番大きなウエートを占めます。昨日は食欲がなかった、下痢をしている、歩き方がおかしいなどといったもので、外見上、異常な点があればこれは要注意で、観察にも十分時間を費やして治療方針をたてます。簡単に投薬、注射などで済ませられるものはよいのですが、手術を要するもの、捕獲して検査しなければならないものなどは少々やっかいです。全身麻酔をする必要があるからです。

朝の巡回を終えると各疾病動物に投薬する薬剤を選択し、各動物の大きさ、症状に応じて分包を行います。

1月10日現在で投薬中の動物だけで、ゴリラ、オランウータン、チンパンジー、クロサイ、フタコブラクダ、エランド、モウコガゼル、スプリングボック、ダマシカ、キリン、バーバリーシープ、ピューマ、トラ、レア、イヌワシ、マクジャク、キーウイ、ユリカモメ、ペンギン（ヒナ）と18種にもものぼり、診療カルテの整理棚もあふれんばかりです。薬は餌にまぜて与える場合が大半で、各飼育担当者に一日の用量を示して渡します。

この薬剤の分包が終わると、注射や点眼、薬の塗布など動物への直接の診療を行います。現在注射中の動物で少々手こずるのはスプリングボックです。肺炎症状を呈しているため、毎日抗生物質と栄養剤の注射を行っていますが、大分症状も改善されてき

ました。点眼はクロオオカミに行っています。昨年9月に白内障のために水晶体摘出手術を行いました。その後毎日、点眼をくり返しています。

急を要さない限りは、午後には手術、検査、解剖などを行います。今年に入ってから手術としては、1月1日：タイハクオオム（縛創）、3日：ピューマ（皮ふ裂創）、4日：トラ（臍ヘルニア）、8日：ユリカモメ（釣針誤嚥）、11日：ユリカモメ（骨折）などです。検査は血液、尿検査、寄生虫検査、レントゲン検査、病理組織検査などを行いますが、いずれも時間がかかるものばかりです。

動物病院が繁盛するのは動物園にとって決して好ましいことではないのですが、診療件数は年々増加の一途をたどっています。昭和57年度の総診療件数は1045件にもものぼります。この数はまだ増えることですが、我々のできる限りの最善の診療を施して、動物の健康回復、維持につとめたいと考えています。（飼育課：宮下 実）

# 動物園ニュース

## § ハイイロカンガルーのおめでた!!

昨年11月7日に交尾が確認されたハイイロカンガルーのメス“アン”の袋のなかに赤ちゃんがいるのが確認されました。“アン”はもう一頭のメス“ケイト”と共に一昨年の12月9日にオーストラリアのシドニーから来園したものです。現地で保護され動物園で飼育されていたもので、来園時まだ推定8ヶ月令の小さな子供でした。出産にはまだ数年かかると思われていましたが、予想より早いおめでたに一同大喜びです。4月頃には袋から顔を出しているかわいい赤ちゃんをごらんいただけるでしょう。



## § ペンギンの人工育すう

昨年12月28日にペンギンのヒナが巣から放り出され衰弱しているのが見つかりました。ヒナといっても、生後50日ぐらいでまもなく巣立ちをするようなヒナでした。両親はフンボルトペンギンとケーブペンギンですので雑種のヒナです。この日の大阪地方、朝から少し雪が積もるほどの寒さで、少し衰弱していましたが、動物病院に収容し保温することにより回復しました。現在1日2回ビタミン剤などを入れたアジを3匹ずつさし餌しています。担当者にも少しずつ慣れ、たいへん元気にしていますので一人だちできるのもうすぐでしょう。

## § キリン誕生

1月15日の早朝キリンが誕生しました。性別はメスで母親は1975



## 現在の飼育動物数

(1983年12月31日現在)

哺乳類	9目	100種	349点
鳥類	20目	202種	686点
爬虫類	3目	37種	112点
計	32目	339種	1147点

年に当園で生まれた“リッコ”で、今回が3度目の出産ですが、過去2回ともうまく育っていないので心配されましたが、今回はうまく育っています。父親は昨年1月に死亡した“タカオ”で、忘れ形見となった子供は彼にとって13頭目の子供になります。“タカオ”が死亡してから寂しくなっていたキリン舎に再び活気もどってきました。

## § 野鳥の受難

1月5日、猛禽のノスリが保護されてきました。右の翼を骨折し衰弱していたためレントゲン写真を撮ったところ、散弾の銃弾と思われるものが体内に4個認められました。禁猟となっているワシタカ類ですが、心ないハンターに撃たれたのでしょうか。もう少し体力が回復してから摘出手術をする予定です。



ノスリのX線写真、矢印が散弾の銃弾

また、1月8日にはユリカモメが保護されました。釣針を飲み込み口からテグスが出ていました。かなり衰弱していましたが、さっそく摘出手術を行ないました。手術はうまくいったのですが残念ながら翌日死亡しました。

最近、人為的な事故で保護される野鳥が増えています。ハンターや釣人のマナーの向上が望まれます。

## § キジ舎の工事始まる

老朽化が目立っていたキジ舎の建替え工事が、昨年12月21日から始まりました。新しいキジ舎は従来と同じ場所に建設されますが、大小27室からなり前面はステンレス金網を用いずと見やすくなります。完成は4月初めの予定で、ベニジュケイをはじめ25種のキジ類やワライカワセミなどを展示する予定です。工事中はキジ類をごらんいただくことはできずご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひします。



## \* 休園日のお知らせ \*

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。4月までの休園日は下記の通りです。  
2月20日(月)、3月19日(月)、4月16日(月)、  
開園時間は午前9時30分～午後5時で、午後4時に切符売止めになります。

# すてき満喫

## 近鉄クレジットカード



- 全国の近鉄百貨店グループ・都ホテチェーンなどでワイドにお使いいただけます。
- カードをご提示いただくだけで30万円までのお買物をお楽しみいただけます。
- 繰り延べ払い(リボルビング方式)・一回払い・ボーナス一括払いの3つのお支払い方法がございます。
- 入会資格は20歳以上で2年以上お勤め、または自営の方です。

**近鉄百貨店**

お申込み・お問合せは各店クレジットセンター  
アベノ店・上本町店・東大阪店・奈良店・西京都店・東京店

近鉄百貨店グループ

四日市近鉄・京都近鉄・岐阜近鉄・枚方近鉄・和歌山近鉄・近鉄松下(徳山)・別府近鉄・三交百貨店(松阪・伊勢)・近鉄東海ストア

ひかりのくに

監修・阪口浩平  
指導・宮武頼夫

オールカラー

# むし

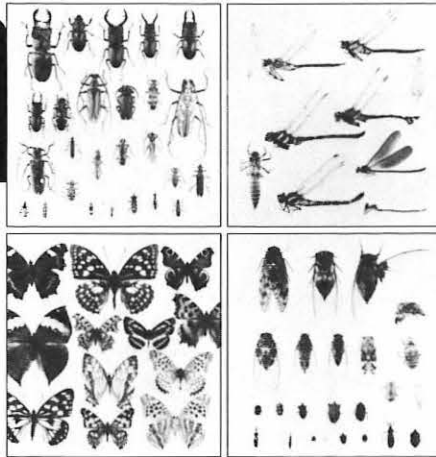
くらしとかいかた

今まで、気にもとめなかつた自然の中で昆虫たちが生きている。みんなも、虫になって自然の中を歩いてみよう。きくとすばらしいことに出会えるはずだ。

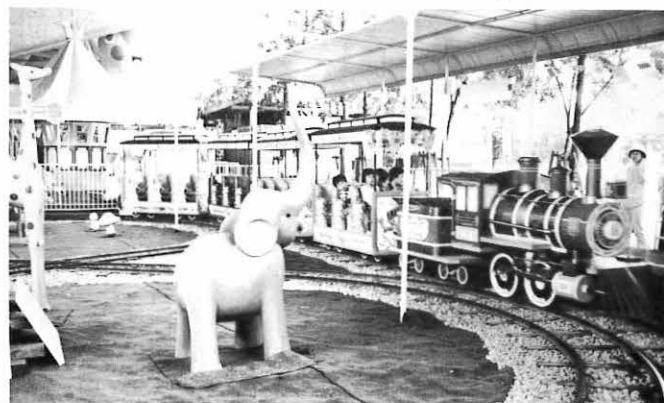


B5変形 84ページ 580円

ひかりのくに株式会社  
〒543・大阪市天王寺区上本町3-2



たのしいのりものが待っています。



1人1回  
100円  
(1才まで無料)

団体割引  
(30人以上)  
……1割引

久竹娛樂株式会社  
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

## 天王寺動物園の機関紙

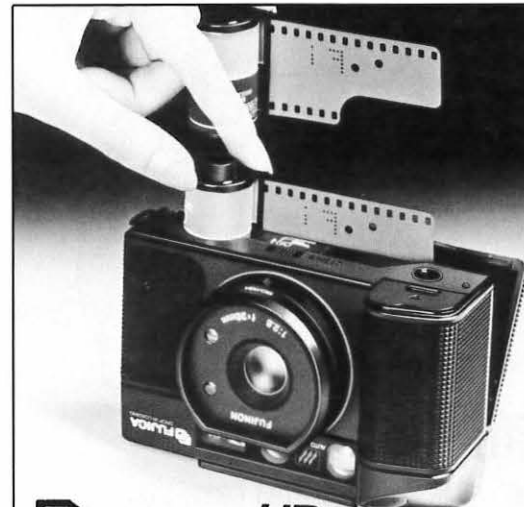
月刊 **なきごえ**

ご購入をお奨めします。

年間購読料 1,100円 (含、郵送料)

お申し込みは、**大阪市天王寺動物園協会**へ

TEL 06-771-0201



# フィルムポン!

世界で初めて「ドロップイン機構」を搭載!  
フィルム装てんが新しくなった—フジカ  
オートエース&オートメイト新登場!

フジカラーHR

—FUJICA—  
オートエース  
DL-100 DATE  
標準価格49,800円

# かみらの大林

桜橋本店 ☎341-8091  
三番街店 ☎372-5031

## ◎ 動物のことなら あらゆることにお役に立ちます。

- 飼育指導 (ペットよろず相談)
- ふれあい子供動物園
- ふれあい動物写真会
- 撮影用動物モデルリース
- 動物(ペット)、教材用生物販売、リース、交換、引取り、預り
- 各種飼料、器具販売、配達

自然から学ぶおもいやり

株式  
会社

# アニマ

(いきもの110ばん)

☎ 06-863-1025 (代表)

〒561 豊中市利倉2丁目22-2

全国の愛犬家の共感を呼ぶ  
無比の愛犬歌集

# 歌集 犬の歌

動物文学会主宰  
平岩米吉著  
(天金美装・箱入  
B6判・270頁  
2500円・〒不要  
(直接申込をう)

著者が、約40年の間に、共に暮した70余頭の犬の生と死を歌った419首を収録。同時に、その誕生より老齢に至る写真47図を収め、犬の一生の生態写真集でもある。

日本図書館協会選定  
全国学校図書館選定

# 狼

その生態と歴史  
犬科生態研究所長  
平岩米吉著

A5判・320頁・  
口絵挿絵等140図  
定価2800円・〒300円

待望の日本狼の正史ついに完成!

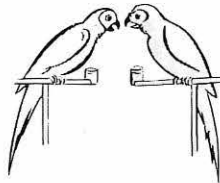
☆犬科動物の研究者として、当代随一の著者が、数十年にわたり収集した正確な資料を、生態学の目をもって描いた空前の書。  
☆日本狼は、大口の真神とあがめられた古代より、のちには病狼と恐れられ、やがて絶滅に至るまでの経緯を詳述。

## 主な目次

序 狼への幻想と現実	5 狼の伝説
1 犬科の分類と解説	6 日本狼の特徴
2 犬と狼の関係	7 日本狼の絶滅
3 日本狼の歴史	終 狼を飼った人々
4 狼狩の記録	

動物文学会 〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2  
電話(03)717-1659・振替東京5-9800

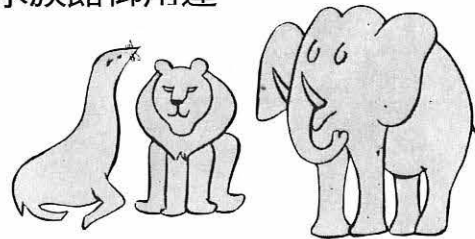
発売 (株)池田書店 東京都新宿区弁天町43番地  
振替・東京4-165425



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

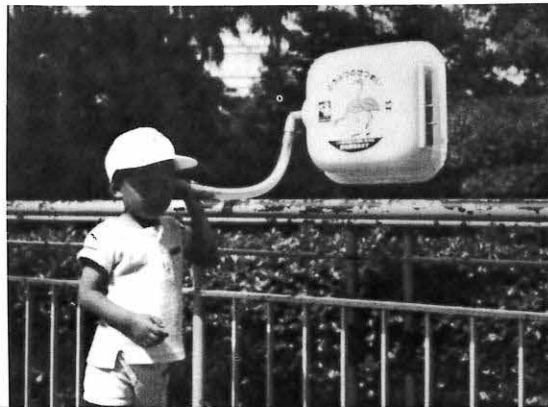
- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517  
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494

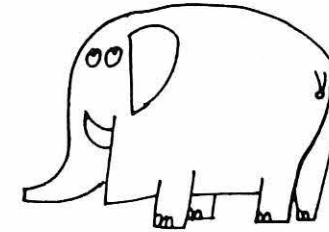
たのしい動物のお話は、  
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数カ所にあります

1回 20円

## 天王寺動物園内



## 南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74  
電話(06)771-7110番

園内でのお写真は…

動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機しておりますのでご説明に伺いました際は、よろしく願い致します。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます

国際航空写真株式会社

TEL 06-856-7444



新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。



果肉とソフトヨーグルト  
の名コンビ



# 雪印ヨーグル

●ブルーベリー・キウイフルーツ・ストロベリー・オレンジ・カクテル

なきごえ 昭和59年2月15日発行(毎月1回15日発行)

編集 / 大阪市天王寺動物園

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

第20巻 第2号 (通巻222号)

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823

1年継続 (12部) 1,100円 (送料共)

## 編集委員

土井 良彦	伊東 重朗	小出 雅三	樽本 勲	中川 哲男	前田 豊彦
宮下 実	長瀬健二郎	榊原 安昭	森本 委利	大野 尊信	菫谷 文彦
農本 武志	野口 秀高	仲谷 登	柴田 総	兼坂 雅浩	堀 弘
太川 光雄					